

株式の状況 (平成25年9月30日現在)

発行可能株式総数 320,000,000 株
発行済株式の総数 74,919,379 株
株主数 12,413 名

大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数	出資比率
	千株	%
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 東京精密口再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	4,592	6.12
ゴールドマンサックスインターナショナル	3,676	4.90
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	3,672	4.90
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	2,899	3.86
ザ チェース マンハッタン バンク エヌエイ ロンドン エス エル オムニバス アカウント	2,399	3.20
第一生命保険株式会社	2,100	2.80
株式会社森精機製作所	2,000	2.66
株式会社三井住友銀行	1,516	2.02
株式会社北越銀行	1,484	1.98
ツガミ取引先持株会	1,229	1.64

- (注) 1. 株数は単位未満を切り捨て、出資比率は小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。
2. みずほ信託銀行退職給付信託東京精密口再信託受託者資産管理サービス信託の持株数 4,592 千株は、㈱東京精密が同行に委託した退職給付信託の信託財産であり、その議決権行使の指図権は㈱東京精密が留保しております。
3. 当社は自己株式を 2,510 千株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

会社の概要 (平成25年9月30日現在)

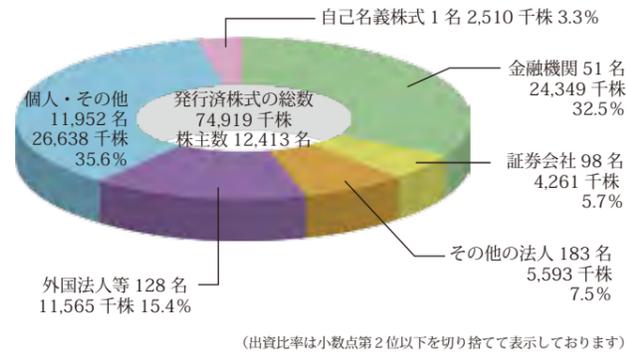
商号 株式会社ツガミ
設立 昭和12年3月
本店所在地 東京都中央区日本橋富沢町12番20号
資本金 12,345百万円
従業員数 456名
役員状況 代表取締役 CEO 西嶋尚生
代表取締役 COO 本間利雄
代表取締役 COO 田内清
代表取締役 COO 新嶋敏治
取締役 邊宰賢
" 唐東雷
社外取締役 中川威雄
" 西山茂
" 島田邦雄
常勤監査役 山田健司
社外監査役 宮田芳文
" 玉井宏明
" 木村龍一

本社・工場 本社 東京都中央区日本橋富沢町12番20号
長岡工場 新潟県長岡市東蔵王1丁目1番1号
高見工場 新潟県長岡市東高見2丁目1番2
新潟工場 新潟県新潟市東区桃山町2丁目132番地

営業拠点 東日本営業部 (東京)
中部営業部 (名古屋)
西日本営業部 (大阪)

ツガミグループ 株式会社ツガミマシナリー
株式会社ツガミ総合サービス
津上精密机床 (浙江) 有限公司 [中国]
浙江品川精密機械有限公司 [中国]
TSUGAMI (THAI) CO., LTD. [タイ]
TSUGAMI GmbH [ドイツ]
TSUGAMI KOREA CO., LTD. [韓国]
TSUGAMI PRECISION ENGINEERING INDIA PVT. LTD. [インド]
TSUGAMI TECH SOLUTIONS INDIA PVT. LTD. [インド]
TSUGAMI Universal Pte. Ltd. [シンガポール]

所有者別株式分布状況



株式メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日
定時株主総会 毎年6月
剰余金の配当の基準 期末配当の基準日は、毎年3月31日
なお、中間配当を実施するときの中間配当の基準日は、毎年9月30日

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
同事務取扱場所 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
郵便番号 137-8081
同連絡先 東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-232-7111(通話料無料)

公告の方法 電子公告により、当社ホームページ(<http://www.tsugami.co.jp/>)に掲載いたします。
なお、やむを得ない事由により、電子公告によることのできない場合は、官報に掲載して行います。

上場金融商品取引所 東京証券取引所

お知らせ

- 株主さまのご住所・お名前の変更、単元未満株式の買取請求、配当金振込指定などを行う場合の受付窓口は、原則として口座を開設されている証券会社等になります。郵送物等の発送と返戻、支払期間経過後の配当金に関するご照会および株式事務に関する一般的なお問合せは、三菱UFJ信託銀行株式会社で承ります。
- 証券会社等の口座ではなく特別口座に記録された株式に関する各種手続きは、三菱UFJ信託銀行株式会社で受付いたします。
- 特別口座に記録された株式を市場で売却する場合は、特別口座から直接売却することができませんので、証券会社等の口座に振替える必要がございます。

株主の皆様へ

第111期中間報告書 平成25年4月1日～平成25年9月30日



ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社第111期第2四半期の営業の概要等につきましてご報告申し上げます。

当期におけるわが国経済は、円安による輸出の回復、東日本大震災の復旧・復興に向けた公共投資に加え、緊急経済対策の実施などにより、緩やかな回復傾向が続いています。

工作機械業界におきましては、円高の修正、堅調な北米市場、さらに欧州市場にも回復の兆しが見られるようになりましたが、中国市場の低迷、国内需要の伸び悩みなどから、弱含みに推移しました。

このような状況の下、当社グループは新機種を投入し、顧客開拓を進めてまいりましたが、中国経済の回復遅れに加え、タイ洪水復興需要が無くなり、スマートフォン向け需要が減少したことなどの影響を受け、前年同期比減収、減益となりました。

売上高は前年同期比 54.8%減の 15,551 百万円となりました。

営業利益は同 85.9%減の 792 百万円、経常利益は同 72.0%減の 1,397 百万円、四半期純利益は同 71.8%減の 883 百万円となりました。

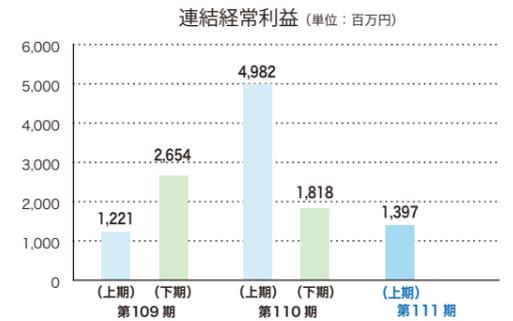
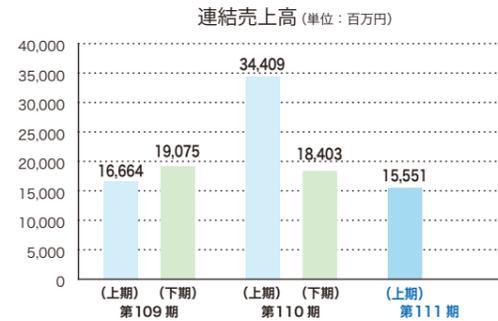
平成26年3月期の中間配当金につきましては、当初予想のとおり1株につき6円とさせていただきます。なお、期末配当金につきましても6円(年間12円)を予定しております。

引き続き売上の拡大と生産の効率化・原価の低減を図るとともに、お客様のニーズに合致した新製品の提供とサービスの充実に努め、常に顧客満足度の向上を目指し、お客様に信頼される経営に全力で取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成25年11月
代表取締役 CEO 西嶋尚生

連結業績の推移



営業成績および財産の状況の推移

区分	第109期		第110期		第111期
	第2四半期(累計)	通期	第2四半期(累計)	通期	第2四半期(累計)
売上高(百万円)	16,664	35,739	34,409	52,812	15,551
経常利益(百万円)	1,221	3,875	4,982	6,800	1,397
当期(四半期)純利益(百万円)	873	2,281	3,136	4,207	883
1株当たり当期(四半期)利益(円)	13.22	33.88	42.62	57.16	12.05
総資産(百万円)	38,384	50,757	46,446	45,919	45,976
純資産(百万円)	22,008	27,717	29,305	31,998	32,323
1株当たり純資産(円)	327.64	372.21	392.42	427.86	439.07

(注) 単位未満を切り捨てて表示しております。

連結財務諸表

◆連結貸借対照表

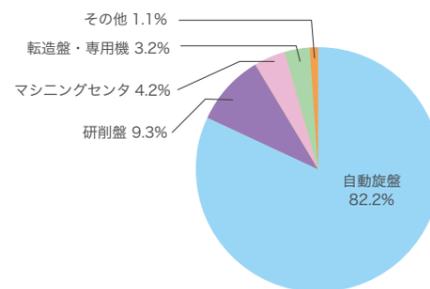
科目	(単位：百万円)	
	当第2四半期 (平成25年9月30日)	前期 (平成25年3月31日)
資産の部		
流動資産	30,541	30,547
現金及び預金	6,815	5,467
受取手形及び売掛金	5,389	5,303
たな卸資産	17,158	18,364
その他	1,177	1,412
固定資産	15,424	15,353
有形固定資産	10,102	9,322
建物・機械装置・運搬具等	8,547	8,434
土地	566	568
その他	988	319
無形固定資産	328	320
投資その他の資産	4,993	5,710
繰延資産	11	18
資産合計	45,976	45,919
負債の部		
流動負債	12,498	12,808
支払手形及び買掛金	6,724	6,759
短期借入金	4,101	3,619
1年内償還予定の社債	150	300
未払法人税等	175	829
その他	1,346	1,299
固定負債	1,154	1,112
退職給付引当金	735	737
その他	418	374
負債合計	13,652	13,920
純資産の部		
株主資本	29,598	29,714
資本金	12,345	12,345
資本剰余金	5,884	5,884
利益剰余金	12,402	11,956
自己株式	△ 1,032	△ 471
その他の包括利益累計額	2,193	1,783
その他有価証券評価差額金	1,249	1,092
為替換算調整勘定	944	691
新株予約権	531	500
純資産合計	32,323	31,998
負債純資産合計	45,976	45,919

◆連結損益計算書

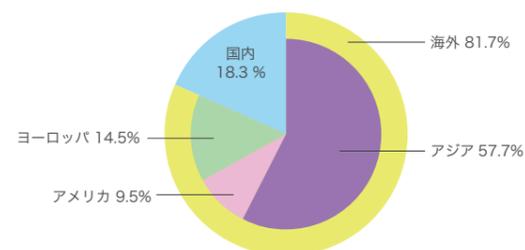
科目	(単位：百万円)	
	当第2四半期 平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで	前第2四半期 平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで
売上高	15,551	34,409
売上原価	11,831	25,723
売上総利益	3,720	8,686
販売費及び一般管理費	2,927	3,049
営業利益	792	5,636
営業外収益	794	56
営業外費用	190	711
経常利益	1,397	4,982
特別利益	72	0
特別損失	292	110
税金等調整前四半期純利益	1,177	4,872
法人税・住民税及び事業税	242	1,601
法人税等調整額	51	133
四半期純利益	883	3,136

◆売上高構成比（連結）

機種別売上高構成比(当第2四半期)



地域別売上高構成比(当第2四半期)



新製品を市場に投入

◆CNC 旋盤 M06J/M08J

旋削、ドリリング、ボーリング加工機として「CNC 旋盤 M06J/M08J」を開発しました。

- 高剛性の基本構造により重切削が可能
- 熱変位補正機能により、高精度加工を実現
- デバック時の干渉防止機能により安心セットアップ
- 異常負荷検出リトラクト機能により、干渉時の機械へのダメージを軽減



◆CNC 旋盤 M06SY/M08SY

背面主軸・Y軸付き複合加工機として「CNC 旋盤 M06SY/M08SY」を開発しました。

- Y軸制御により複雑形状の加工が可能
- 背面主軸により突っ切り面の加工が行えるため2次加工が不要
- 12面タレットの全ポジションにミリングツールの取り付けが可能
- 主軸、背面主軸にはビルトインモーターを採用し高精度加工が可能



◆立形高速マシニングセンタ VA3

高速・高精度加工に最適な「立形高速マシニングセンタ VA3」を開発しました。

- 早送り速度X・Y・Z 48m/minと高速主軸 20,000min-1により、高速・高能率加工に最適
- 工具を旋回アームで同時に交換することにより高速 ATC を実現
- 20本ツールマガジン(使用最大工具本数：21本)を標準装備
- 様々なツーリングに対応可能な広いツーリングゾーン (X・Y・Z軸ストローク：500×400×350mm)



◆CNC 精密円筒研削盤 G350S-750/G350A-750

高能率・高生産加工に最適な G350 シリーズにセンタ間距離 750mm の「CNC 精密円筒研削盤 G350S-750/G350A-750」を開発しました。

- シリーズの充実化と豊富なオプションにより更に幅広いワークに対応可能
- 自動車関連部品の大量生産から複数類似ワークの中量生産までを自動化に対応
- といし台はワークにあわせてストレートとアンギュラの2タイプから選択可能
- といし軸はツガミ独自の高剛性動圧軸受けを採用し、スライド案内は安定した精度のV-平構造により安定した加工精度を実現



展示会に出展

取引先の開拓を積極的に進めてまいりました。2013年4月22日から6日間、中国(北京)にて第13回中国国際工作機械展覧会に出展いたしました。2013年7月2日から4日間、中国(上海)にて第15回上海国際工作機械見本市に出展いたしました。2013年7月11日から2日間、ツガミ長岡工場にてツガミテクニカルフェア2013を開催いたしました。2013年9月16日から6日間、ドイツ(ハノーバー)で開催された EMO Hannover 2013 に出展いたしました。国内外より大勢のユーザー、ディーラー様に来場いただき、更に市場を広げるため活発な商談を行いました。



ツガミテクニカルフェア2013